(ｱ) 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現すること。

(2) 第一次世界大戦と大衆社会

諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識を身に付けること。

(ｱ) 第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解すること。

(ｲ) 大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解すること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現すること。

(ｲ) 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現すること。

(3) 経済危機と第二次世界大戦

諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識を身に付けること。

(ｱ) 世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解すること。

(ｲ) 第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解すること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，

主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現すること。

(ｲ) 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現すること。

(4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題

内容のＡ及びＣの(1)から(3)までの学習などを基に，自由・制限，平等・格差，開発・保全，統合・分化，対立・協調などの観点から主題を設定し，諸資料を活用して，追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識を身に付けること。

(ｱ) 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解すること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，主題について多面的・多角的に考察し表現すること。

Ｄ　グローバル化と私たち

(1) グローバル化への問い

冷戦と国際関係，人と資本の移動，高度情報通信，食料と人口，資源・エネルギーと地球環境，感染症，多様な人々の共存などに関する資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような技能を身に付けること。

(ｱ) 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現すること。

(2) 冷戦と世界経済

諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の